

# ハザードマップ作成の ワークショップ(まちあるき編)

防災部会長 山口 隆之

ハザードマップ作成は、廿日市市が地域と連携して進めているもので、今年は一区が対象となりました。



出発前の「まちあるき」ルートの確認

ワークショップ形式で実施され、9月13日の第1回目について、10月10日には、第2回目の「まちあるき」を行いました。

「まちあるき」は、地域を実際に歩き、危険箇所の確認や、避難経路の確認を行うものです。一区の場合は、宮島口・宮島口上・宮島口東・福面の4地域の防災会ごとに、分かれて歩きます。



警戒区域等の確認

今回は、台風14号が近づいて、暴風の中、実践しながらの避難経路探しかとも思いましたが、幸い、中国地方に影響はなく、天気も持ち直した中でスタートしました。



宮島口東地域の「まちあるき」



福面地域の「まちあるき」

参加者24名。大野東市民センターに集合後、巡回するルートを確認し、4班に分かれ約1時間「まちあるき」をしました。

実際に歩いてみて、危険箇所を把握するだけでなく、自分が避難する避難場所へのルートを目頃から歩いて

確認しておくことが大切だと思いました。

1時間後、再び大野東市民センターに集合、「まちあるき」の結果の整理を行いました。

次回は、「ハザードマップ最終案のまとめ」と「マップ活用方法」についてです。



宮島口上地域の「まちあるき」



# 楽楽エコボックス設置記念

## カリグラフィー・絵画コンクール表彰式

総務部会 中川 和之



最優秀賞  
前田智祐くん

この度の楽楽エコボックス設置に伴い、ボックス(資源回収倉庫)に貼る名称板のカリグラフィー(飾り文字)と回収対象資源の絵画をコンクール



形式で募集しました。たくさんの応募を頂いたなか、カリグラフィー部門 1 作品と回収資源ごとに 4 作品が最優秀作品として選ばれ、9 月 26 日(土)と 27 日(日)に表彰式を行いました。



最優秀賞  
山本夢生くん

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受賞者の子どもさん宅を個別に訪問し



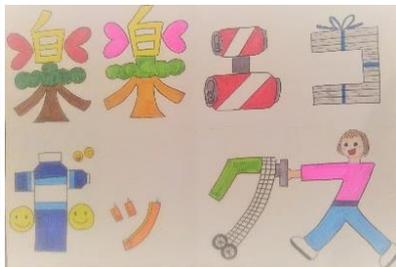
最優秀賞  
升田琉唯くん



て行いました。受賞者は審査を担当した井上さちこ市議と楽楽エコボックス世話役の春口さんの立会のもと、青柳区長より表彰状と副賞を受け取り、受賞の皆さんは、照れながら



最優秀賞  
三島理愛さん



最優秀賞  
酒匂ひまりさん



も改めて喜びをかみしめている様子でした。

最優秀作品に選ばれた作品は、区内に設置された楽楽エコボックスにシール加工して貼られ一区の資源回収事業のシンボルとなります。また、応募頂いた子どもさん達の飾り文字や絵も、区内の協力事業所や集会所などに掲げられ、楽楽エコボックスの啓蒙に一役買ってもらおう予定になっています。



このエコボックスに飾り文字や絵をシール加工して貼付

## 防災講座 開催

9 月 25 日(金)大野東市民センター主催の防災講座に参加、「被災地で活動して感じたこと」と題し、廿日市市社会福祉協議会大野事務所の井上美代子さんが、社協が災害ボランティアセンターを設置してきた目線で、以下 3 項を主体に講演されました。

- ① 普段認識している防災意識をチェックし今後の備えに役立てる
- ② 家庭で身近にできる様々な備えを知る
- ③ 災害に強い地域づくりを考える

最後に「何か出来る事が見えてきませんか」と問われ、ポーっと生きてはいけないと、改めて意識高揚致しました。



身近で役立つグッズを紹介されながらの講演

# 公園清掃活動

赤崎児童公園

総務部会 下藤 進一

9月27日（日）宮島口2丁目の駅北側、赤崎児童公園の草刈りを行いました。



準備万端  
草刈り機出動

当日は、快い秋の日差しの中、手際良く作業が進みました。例年は、近所の有志の方に奉仕して貰っていましたが、今年からは特別に、一区草刈り隊の皆さんの手によって行いました。因みに私は、今年8月にその草刈り隊に入隊しましたが、隊員の中には80才を超えた方も居られます。



児童公園内の清掃

この日の作業は、8時過ぎから始めて10時前に終わり、刈った草はそのままにして18日の清掃日に袋に詰める事にしました。草刈り隊の皆さん、本当にお疲れさまでした。有難う御座いました。



草ぼうぼうだと  
ちよいと時間掛かります

# 令和2年度 前期 大野第一区企画推進協議会 開催

総務部会長 島 啓二

9月27日（日）企画推進協議会を開催しました。



この会議は、一区役員の他に民生委員・児童委員代表、万年青会会長、女性会会長、体育推進協議会会長、子供会会長、消防団分団長、区長経験者、各地域代表者などで構成され、年2回開催されています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で様々なイベントが縮小・中止となっている中、工夫する点や注意するポイントなど話し合いました。また、一区規約の改定や集会所の運営状況、楽楽キャブ活動状況などの報告を行った後、懸案事項である新しい集会所の件や、これから始まる楽楽エコボックスなど多くのテーマで協議しました。

## 朝のラジオ体操

金木犀の香気が漂う、朝6時30分！  
柿の浦4号公園で、NHKのラジオ体操が始まります。誰にでも気軽に出来る運動として、月・水・金/週の朝のひと時、10分間のラジオ体操に楽しく取り組んでいます。更に、会場までウォーキングを楽しむ方、健康器具で足の裏のつぼマッサージを楽しむ方、来場者と情報交換をする方等、雨天で中止以外は活発です。参加者 鈴木 一郎

NHKのラジオ体操に合わせて1・2・3・・・



# 地区別サロンを開催しました

福祉部会長 野田 崇

6月の合同サロン・10月の長寿祭開催を見送りましたが、大野東市民センター多目的ホールは、密接・密集を避けるための収容数を80名としていることから、実施可能と判断し地区別サロンを開催しました。それぞれの、サロンマネージャーを中心にプログラムに工夫を凝らして、参加者と楽しい時間を過ごしました。



サルサのリズムに合わせて運動

9月29日(火) 青葉台地域(福面二、三丁目) 参加者約30名(スタッフ含む)  
デュアルタスクでコロナに負けるなスペシャル・・・サルサでGO!  
特養 阿品清鈴園 作業療法士 竹内優子さん 他2名



福祉部会長から、「福祉・防災に関して日常の繋がりが災害時に生きてくる」ことについて

9月30日(水) 宮島口地域 参加者約20名(スタッフ含む)

百歳体操・・・大野浦病院 理学療法士 黒瀬雅彦さん  
生活不活発病の防止と健康生活年齢の向上百歳体操の誕生(高知県保健課作)と有用性・拡がりの説明がありました。  
ダーツ競技・・・入賞賞品に ハンカチタオル\*廿日市市高齢介護課の佐木美砂さん、包括支援センターの柿丸恵子さん  
社協大野副所長の井上美佐子さんが参加されました。参加者は、コロナ禍で外出することが少なくなり、「サロンがあって身体を動かせて、良かった」「またやってください」との感想がありました。



大正琴演奏



コグニサイズ

9月28日(月) 宮島口上・宮島口東・福面一丁目地域 参加者約50名(スタッフ含む)  
大正琴演奏・・・紅万作(12名 代表・松浦友美さん)  
コグニサイズ・・・“ココカラアジナ”運動指導師 国貞一成さん  
運動と認知トレーニングを組合わせた体操



サロンマネージャーの挨拶



100歳体操

これ！イイです！



サルサでGO!の説明



参加者全員でダーツ競技